

令和3年度

事業報告書

収支計算書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

目 次

令和3年度 事業報告

I. 法人の概要

1. 目的	1
2. 沿革	1
3. 基金の状況	1
4. 役員	1
5. 名誉会長	2
6. 会議	
(1) 理事会の開催	2
(2) 評議員会の開催	4
7. 役員改選	
(1) 令和3年6月22日付	6

II. 事業の概要

1. 研究及び科学技術に関する助成事業（科学技術振興助成金事業）	
(1) 周知方法	6
(2) 助成金申請受付状況	7
(3) 選考委員会	7
(4) 助成金交付件数及び助成額	8
(5) 交付対象となった研究概要	8
(6) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会	9
2. 特記事項	12

令和3年度 経理状況

貸借対照表（令和4年3月31日現在）	13
正味財産増減計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）	14
正味財産増減計算書（内訳表）（令和3年4月1日～令和4年3月31日）	15
財務諸表に対する注記	16
財産目録（令和4年3月31日現在）	17
収支計算書（予算対比）（令和3年4月1日～令和4年3月31日）	18
監査報告書	19

令和3年度 事業報告書

I. 法人の概要

1. 目的

兵庫県における科学技術の研究開発を助成し、科学技術に関する知識及び思想の普及並びに啓発に努めることにより、科学技術の発展と科学思想の浸透を図り、もって兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資することを目的とする。

2. 沿革

昭和51年4月17日 設立許可（昭和51年4月17日付兵庫県指令文第1-3号）
基本財産 2億円（出損者：兵庫県）
昭和51年4月26日 設立登記
平成25年4月 9日 公益財団法人へ移行登記

3. 基金の状況

基本財産	200,000,000円
出損金受領年月日	昭和51年4月19日
出損者	兵庫県
管理状況	・楽天社債 108,545,109円 契約締結日：令和3年12月27日 ・ソフトバンクG社債 91,000,000円 契約締結日：令和4年2月4日 ・定期預金 454,891円

(注) 出損金はハニー化成(株)が兵庫県に寄附したものの。

4. 役員

令和3年6月22日改選後

財団役職	氏名	所属・役職名
会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 産業部 参事役
理事	内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
監事	大西 利政	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長

財団役職	氏 名	所属・役職名
評議員	亀岡 誠司	株式会社神戸製鋼所 知的財産部長
評議員	井上二三夫	シスメックス株式会社 知的財産本部 理事・本部長
評議員	山田文一郎	大阪市立大学 名誉教授
評議員	福岡 誠	川崎重工業株式会社 技術開発本部 技術企画推進センター 知的財産部長
評議員	川村 昌志	公益財団法人新産業創造研究機構 理事 事務局長 兼 研究開発部門長
評議員	宮口 美範	兵庫県産業労働部 産業振興局長
評議員	宮本 要	公益社団法人兵庫工業会 専務理事

会長 1 理事 6 監事 2 評議員 7 (計 16 名)

5. 名誉会長

令和3年12月2日付就任

財団役職	氏 名	所属・役職名
名誉会長	齋藤 元彦	兵庫県知事

6. 会議

(1) 理事会の開催

① 第1回理事会（書面決議）

理事会の決議があったとみなされた日 令和3年5月17日

現在の理事、監事（順不同・敬称略）

理事 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役
 理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授
 理事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
 理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 産業部 参事役
 理事 内田 仁 兵庫県立工業技術センター 所長
 理事 山崎 徹 兵庫県立大学参与 特任教授 金属新素材研究センター長
 理事 吉田 眞也 ハニー化成株式会社 代表取締役社長
 監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
 監事 大西 利政 兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長

理事会の決議があったとみなされた事項

- (1) 第1号議案 令和2年度事業報告同収支決算（案）について
- (2) 第2号議案 役員改選（案）について
- (3) 第3号議案 評議員選定委員会開催（案）について
- (4) 第4号議案 評議員会招集（案）について

② 第2回理事会

日時 令和3年6月22日(火) 16:30~17:00

場所 兵庫県立工業技術センター 研究本館 セミナー室Ⅲ

出席者(順不同・敬称略)

理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 産業部 参事役
理事	内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
監事	大西 利政	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長
事務局	田中 雅道	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

- (1) 第1号議案 会長(代表理事)の選出(案)について
- (2) 第2号議案 基本財産(兵庫県縁故債)満期後の運用について

報告事項

- (1) 代表理事の職務執行状況報告について

③ 第3回理事会

日時 令和3年12月2日(木) 10:00~12:00

場所 兵庫県立工業技術センター 研究本館 セミナー室Ⅲ

出席者(順不同・敬称略)

理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 産業部 参事役
理事	内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
監事	大西 利政	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長
事務局	田中 雅道	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

- (1) 第1号議案 令和3年度兵庫県科学技術振興助成金交付（案）について
- (2) 第2号議案 科学技術振興に関する第46回助成金贈呈の会（案）について
- (3) 第3号議案 中間期事業報告について
- (4) 第4号議案 定款の変更について
- (5) 第5号議案 書面決議による臨時評議員会の開催について
- (6) 第6号議案 名誉会長の委嘱について

報告事項

- (1) 代表理事の職務執行状況報告について

④ 第4回理事会

日時 令和4年3月11日（金）16:00～17:00

場所 兵庫県立工業技術センター 研究本館 セミナー室Ⅲ

出席者（順不同・敬称略）

理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 産業部 参事役
理事	内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
監事	大西 利政	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長
事務局	田中 雅道	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

- (1) 第1号議案 令和4年度事業計画同収支（案）について

報告事項

- (1) 基本財産の運用について（兵庫県縁故債満期後の運用）
- (2) 代表理事の職務執行状況報告について
- (3) 令和4年度主な行事予定について

(2) 評議員会の開催

① 定時評議員会

日時 令和3年6月22日（火）15:30～16:30

場所 兵庫県立工業技術センター 研究本館 セミナー室Ⅲ

出席者（順不同・敬称略）

評議員 井上二三夫 シスメックス株式会社 知的財産本部 理事・本部長
評議員 山田文一郎 大阪市立大学 名誉教授
評議員 福岡 誠 川崎重工業株式会社 技術開発本部 技術企画推進センター 知的財産部長
会長 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役
理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授
理事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 産業部 参事役
理事 内田 仁 兵庫県立工業技術センター 所長
理事 山崎 徹 兵庫県立大学参与 特任教授 金属新素材研究センター長
理事 吉田 眞也 ハニー化成株式会社 代表取締役社長
監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 パートナー 税理士
監事 大西 利政 兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長

陪席 西野 孝 神戸大学大学院工学研究科 教授
陪席 畑 豊 兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長

事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

- (1) 第1号議案 令和2年度事業報告同収支決算（案）の承認について
- (2) 第2号議案 役員改選（案）の承認について

報告事項

- (1) 令和3年度事業計画同収支予算について

② 臨時評議員会（書面決議）

評議員会の決議があったとみなされた日 令和3年12月15日

現在の評議員（順不同・敬称略）

評議員 亀岡 誠司 株式会社神戸製鋼所 知的財産部長
評議員 井上二三夫 シスメックス株式会社 知的財産本部 理事・本部長
評議員 山田文一郎 大阪市立大学 名誉教授
評議員 福岡 誠 川崎重工業株式会社 技術開発本部 技術企画推進センター 知的財産部長
評議員 川村 昌志 公益財団法人新産業創造研究機構 理事 事務局長 兼 研究開発部門長
評議員 宮口 美範 兵庫県産業労働部 産業振興局長

評議員 宮本 要 公益社団法人兵庫工業会 専務理事

評議員会の決議があったとみなされた事項

(1) 第1号議案 定款変更(案)の承認について

7. 役員改選

(1) 令和3年6月22日付

理事(順不同・敬称略)

神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役	重任
半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長	重任
平岡 靖敏	神戸商工会議所 産業部 参事役	重任
内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長	重任
吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長	重任
西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授	就任
畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長	就任

監事(順不同・敬称略)

鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士	重任
大西 利政	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長	重任

評議員(順不同・敬称略)

評議員 亀岡 誠司	株式会社神戸製鋼所 知的財産部長	重任
評議員 井上二三夫	シスメックス株式会社 知的財産本部 理事・本部長	重任
評議員 山田文一郎	大阪市立大学 名誉教授	重任
評議員 福岡 誠	川崎重工業株式会社 技術開発本部技術企画推進センター 知的財産部長	重任
評議員 川村 昌志	公益財団法人新産業創造研究機構 理事 事務局長 兼 研究開発部門長	就任
評議員 宮口 美範	兵庫県産業労働部産業振興局長	就任
評議員 宮本 要	公益社団法人兵庫工業会 専務理事	就任

II. 事業の概要

1. 研究及び科学技術に関する助成事業(科学技術振興助成金事業)

(1) 周知方法

- ・ 関係団体、県内各商工会議所・商工会・県民局等への案内送付
- ・ ホームページ掲載

- ・ 内部機関紙告知（兵庫県発明協会 機関誌 IPR）

(2) 助成金申請受付状況

① 受付期間 令和3年7月1日～令和3年9月30日

② 申請件数・金額

一般企業	6件	2,980,000円
研究機関	10件	4,800,000円
合計	16件	7,780,000円

(3) 選考委員会

① 日時 令和3年11月16日（火）13:00～15:00

会場 兵庫県立工業技術センター 研究本館 セミナー室Ⅲ

出席者（順不同・敬称略）

委員	内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長
委員	中村 俊一	神戸大学大学院医学研究科 教授
委員	黒田 公一	ハニー化成株式会社 執行役員 明石事業所所長兼技術部部长
委員	山田文一郎	大阪市立大学 名誉教授
委員	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
委員	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
委員	平田 健一	神戸大学大学院医学研究科 教授
委員	大西 利政	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長
会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
事務局	田中 雅道	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

② 研究開発助成基準

1. 助成対象

兵庫県 県下の助成を必要とする個人、企業、研究機関（大企業、大規模プロジェクトは含まない）が次に掲げる研究開発等の事業（以下「助成事業」という。）を行うに必要な経費を、会長が適当と認めるものについて、予算の範囲内において交付する。

(1) 研究開発の試作試験費に対する助成

(2) 新技術の実施化資金に対する助成

2. 選考基準

- イ. 県下の科学技術の振興に寄与するもの。
- ロ. 新規な学術または技術であること。
- ハ. その計画が申請者において実施可能なものであること。

3. 選考方法

- イ. 申請書、添付資料により審査を行う。
- ロ. 必要に応じて内容聴取、または臨場調査することもある。
- ハ. 選考は次の区分に評価する
 - A・・・助成金の交付が適当である
 - B・・・Aに準じる
 - C・・・助成金の交付は適当でない
- ニ. 助成額は、年度予算を参考に選考委員の総意により、査定する。

(4) 助成金交付件数及び助成額

一般企業	2件	800,000円
研究機関	3件	1,200,000円
合計	5件	2,000,000円

(5) 交付対象となった研究概要

<p>「マルチモダリティで使用できる股関節検査補助器具」</p> <p style="text-align: right;">神戸バイオメディクス株式会社 代表取締役 里 和也</p> <p>X線及びMRIによる撮影において、股関節の診断能を向上させるため、膝・足関節を適正位置で固定する補助具の開発を目指す。特にMRIの地場の影響を受けないよう非磁性体のステンレス、POMなどで構成し、可搬性を高めるための軽量化と、操作性、再現性を向上させるため、足の開き、足先の角度が目盛りにより確認できる構造となっている。</p> <p style="text-align: right;">(助成金額 40万円)</p>
<p>「海苔製造機における海苔箆張設用クリップの新製品開発」</p> <p style="text-align: right;">汐見商店 代表 汐見 次郎</p> <p>この製品は、海苔養殖業を営む水産会社に設置されている海苔製造機の一部品である。海苔箆張設用クリップは、海苔を漉く海苔箆と鉄枠を留めるとともに、ばねによる弾力効果を発揮する部品として取り付けられている。現在、消耗品である海苔箆の取替作業において、既存部品の材質と形状では、手に優しく無く取り替え難いという困難が付きまとっている。</p> <p>弊所は、取り替えをする人の手に優しいことを重要ポイントにし、通常運転時には絶対に外れず、意識的に外そうと思えば外れる仕組みを備え、取替作業が容易に行える形状を持ち、適度な弾性力を持つことで良質な海苔を生産することができ、経年劣化を鈍らせて長期間使用できるように開発する。</p> <p style="text-align: right;">(助成金額 40万円)</p>
<p>「Dual-energy CTを用いた薬剤関連性顎骨壊死における新規画像解析法の開発 ～CuをターゲットにしたICP発光分光分析～」神戸大学医学部附属病院 歯科口腔外科 医員 有本 智美</p> <p>薬剤関連性顎骨壊死(MRONJ)は、骨粗鬆症患者・骨転移をする癌患者等において使用され</p>

年度別実績

(助成金単位：千円)

<p>るビスフォスフォネート製剤、抗癌剤に関連して起こる口腔領域の難治性疾患であり、不十分な切除では再発や病巣拡大を引き起こし、患者 QOL を著しく低下させる。本研究では、術前に 2 種類 (100kVp と Sn 150kVp) の異なる X 線エネルギーを同時に照射して画像情報を得る Dual-energyCT にて撮影を行い、腐骨に特異的に集積する Cu を分離・定量化するアプリケーションを開発する。その後、手術で摘出した腐骨を ICP 発光分光分析法で定量化解析を行い、画像解析制度の評価を行う。本研究は、MRONJ の正確な切除範囲の決定を目的とする Cu をターゲットにした Dual-energyCT を用いた新規画像解析法の開発である。</p> <p style="text-align: right;">(助成金額 40 万円)</p>
<p>「目的の細胞内小器官を簡便に電子顕微鏡で可視化するための電子染色剤の開発」 神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻 助教 森田 健太</p> <p>透過型電子顕微鏡 (TEM) は光学顕微鏡と比べて非常に高い分解能を持つにもかかわらず、細胞内小器官の観察には光学顕微鏡が用いられる。その理由として、細胞内小器官を TEM で選択的に可視化するには金属イオンを集積させる必要があるが、この特異的電子染色を簡便に行う試薬は存在しない。</p> <p>ここで、申請者の研究グループでは貴金属イオンと錯体を形成するペプチド配列 (GGH) を含むペプチド脂質を開発しており、ペプチド脂質の炭化水素鎖の長さを制御すると特定の細胞小器官へ指向性を持つことが示唆されている。そこで、このペプチド脂質の炭化水素鎖を様々に変え、細胞内の望んだ部位に金属イオンを局在化させることで電子顕微鏡にて観察可能にする。</p> <p style="text-align: right;">(助成金額 40 万円)</p>
<p>「手、顔を用いた外見認識による疾患超早期発見システムの開発」 神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 講師 福岡 秀規</p> <p>顔などの外見を認識する AI 診断ソフトの開発が疾患の早期発見を目指して開発されているが、社会実装に至っている例はほとんどない。これは顔認証が、究極の個人情報である事が原因の一つとして考えられる。</p> <p>申請者は、本研究において、「まず手の異常をとらえる外見診断ソフトの開発」という、全く新たな着想に至った。このソフトウェアをモバイルアプリケーションとして社会実装する事で、「異常と感じた自らの手をアプリにかざす」ことがより簡便となり、疾患の拾い上げを超早期に行う事が可能となる。手、顔に異常を呈する疾患として、まず「先端巨大症」診断システムを開発する。</p> <p style="text-align: right;">(助成金額 40 万円)</p>

(6) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会

- ① 令和 2 年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止となった第 4 5 回助成金贈呈の会のうち、前年度助成金受賞者による研究成果発表会については、開催時期を令和 3 年度に延期し、規模を縮小して開催した。

日時 令和 3 年 7 月 2 9 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室

参加者 30名

内容

1. 令和元年度受賞者による研究成果発表 (14:00~16:45)

2. 講評 (16:45~17:00)

主催挨拶 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 会長 神門 登
講評 助成金選考委員会委員長 大阪市立大学名誉教授 山田 文一郎 氏

② 科学技術振興に関する第46回助成金贈呈の会を開催し、前年度助成金受賞者による研究成果発表会と、令和3年度助成金贈呈式を行った。

日時 令和4年1月17日(月) 14:30~15:50

場所 生田神社会館 4階 蓬莱の間(神戸市中央区下山手通1-2-1)

参加者 62名

内容

1. 令和2年度受賞者による研究成果発表 (14:30~15:30)

2. 助成金贈呈の会 (15:30~15:50)

主催挨拶 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 会長 神門 登
審査経過報告 助成金選考委員会委員長 大阪市立大学名誉教授 山田 文一郎 氏
来賓挨拶 兵庫県産業労働部産業振興局長 宮口 美範 氏

第46回助成金贈呈の会 成果発表会風景



年度	回数	一般		学校		機関		合計	
		採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額
昭和 51	第 1回	9	6,330	3	3,050	1	1,150	13	10,530
昭和 52	第 2回	3	1,650	5	5,100	3	3,050	11	9,800
昭和 53	第 3回	12	6,600	3	2,400	-	-	15	9,000
昭和 54	第 4回	6	3,600	6	4,200	-	-	12	7,800
昭和 55	第 5回	4	5,000	5	4,000	-	-	9	9,000
昭和 56	第 6回	6	6,000	5	5,000	-	-	11	11,000
昭和 57	第 7回	5	6,400	6	5,600	-	-	11	12,000
昭和 58	第 8回	4	6,800	9	8,200	-	-	13	15,000
昭和 59	第 9回	5	6,000	7	7,400	-	-	12	13,400
昭和 60	第 10回	4	5,000	8	8,300	-	-	12	13,300
昭和 61	第 11回	5	4,000	6	6,000	-	-	11	10,000
昭和 62	第 12回	4	3,700	7	6,300	-	-	11	10,000
昭和 63	第 13回	5	3,600	7	6,400	-	-	12	10,000
平成 1	第 14回	5	3,500	8	6,500	-	-	13	10,000
平成 2	第 15回	2	1,900	9	8,100	-	-	11	10,000
平成 3	第 16回	3	2,800	8	8,400	-	-	11	11,200
平成 4	第 17回	5	4,000	7	6,000	-	-	12	10,000
平成 5	第 18回	3	2,200	6	5,800	-	-	9	8,000
平成 6	第 19回	2	1,300	3	3,700	-	-	5	5,000
平成 7	第 20回	0	0	5	5,000	-	-	5	5,000
平成 8	第 21回	1	550	2	1,450	-	-	3	2,000
平成 9	第 22回	1	500	5	3,500	-	-	6	4,000
平成 10	第 23回	1	800	4	3,200	-	-	5	4,000
平成 11	第 24回	2	1,400	3	2,400	-	-	5	3,800
平成 12	第 25回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 13	第 26回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 14	第 27回	1	300	5	3,500	-	-	6	3,800
平成 15	第 28回	0	0	5	3,300	-	-	5	3,300
平成 16	第 29回	0	0	5	2,900	-	-	5	2,900
平成 17	第 30回	1	300	6	3,300	-	-	7	3,600
平成 18	第 31回	5	2,100	3	1,500	-	-	8	3,600
平成 19	第 32回	2	800	3	1,200	-	-	5	2,000
平成 20	第 33回	3	900	3	900	-	-	6	1,800
平成 21	第 34回	4	1,200	3	900	-	-	7	2,100
平成 22	第 35回	4	1,500	2	600	-	-	6	2,100
平成 23	第 36回	6	1,800	5	1,200	-	-	11	3,000
平成 24	第 37回	2	500	4	1,200	-	-	6	1,700
平成 25	第 38回	1	200	6	1,800	-	-	7	2,000

		一般		学校		機関		合計	
平成 25	第 38回	1	200	6	1,800	-	-	7	2,000
平成 26	第 39回	1	300	4	1,200	-	-	5	1,500
平成 27	第 40回	3	700	3	900	-	-	6	1,600
平成 28	第 41回	3	600	4	1,100	-	-	7	1,700
平成 29	第 42回	2	450	3	750	-	-	5	1,200
平成 30	第 43回	1	200	6	1,400	-	-	7	1,600
令和 元	第 44回	4	1,100	2	500	-	-	6	1,600
令和 2	第 45回	2	1,000	1	500	-	-	3	1,500
令和 3	第 46回	2	800	3	1,200	-	-	5	2,000
合計		146	99,880	221	161,950	4	4,200	371	266,030

(注: 機関助成は昭和52年度で整備完了につき終了)

2. 特記事項

開催日時	概要	場所
4月12日	会計監査(鈴木監事・大西監事)	オンライン開催
5月17日	第1回理事会(決算理事会) 書面決議	
5月19日	評議員選定委員会 書面決議	
6月22日	定時評議員会	兵庫県立工業技術センター
6月22日	第2回理事会	兵庫県立工業技術センター
7月1日	令和3年度 助成金申請 受付開始	
7月7日	役員変更登記	神戸地方法務局
7月8日	定期報告書類オンラインにて提出	公益法人インフォメーション
7月29日	助成金研究成果発表会(令和2年度延期分)	兵庫県立工業技術センター
9月30日	令和3年度 助成金申請 受付締切	
11月16日	令和3年度 助成金選考委員会	兵庫県立工業技術センター
12月2日	第3回理事会(中間理事会)	兵庫県立工業技術センター
12月15日	臨時評議員会 定款変更 書面決議	
12月28日	定款変更 オンラインにて提出	公益法人インフォメーション
12月20日	兵庫県縁故債(基本財産) 満期	
12月27日	楽天社債(基本財産) 運用開始	
1月17日	科学技術振興に関する助成金贈呈の会	生田神社会館(神戸市中央区)
2月4日	ソフトバンク G(基本財産) 運用開始	
3月11日	第4回理事会(予算理事会)	兵庫県立工業技術センター
3月18日	定期預金(基本財産) 運用開始	

貸借対照表
令和4年3月31日現在

(単位：円)

A	B	C	D
科 目	当年度	前年度	増 減
1 I 資産の部			
2 1. 流動資産			
3 現金預金	1,558,144	2,156,304	△598,160
4 現金	34,860	18,951	15,909
5 普通預金三井住友銀行兵庫支店	1,523,284	2,137,353	△614,069
6 流動資産合計	1,558,144	2,156,304	△598,160
7 2. 固定資産			
8 (1) 基本財産			
9 投資有価証券	199,545,109	200,000,000	△454,891
10 定期預金	454,891	0	454,891
11 基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
12 (2) 特定資産			
13 投資有価証券	6,000,000	6,000,000	
14 特定資産合計	6,000,000	6,000,000	
15 固定資産合計	206,000,000	206,000,000	0
16 資産合計	207,558,144	208,156,304	△598,160
17 II 負債の部			
18 1. 流動負債			
19 未払金	300,000	300,000	0
20 流動負債合計	300,000	300,000	0
21 負債合計	300,000	300,000	0
22 III 正味財産の部			
23 1. 指定正味財産			
24 寄付金	200,000,000	200,000,000	0
25 指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
26 (うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
27 (うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
28 2. 一般正味財産	7,258,144	7,856,304	△598,160
29 (うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
30 (うち特定資産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
31 正味財産合計	207,258,144	207,856,304	△598,160
32 負債及び正味財産合計	207,558,144	208,156,304	△598,160

正味財産増減計算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

A	B	C	D
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[2,140,000]	[2,140,000]	[0]
基本財産受取利息	2,140,000	2,140,000	0
② 特定資産運用益	[28,200]	[28,200]	[0]
特定資産受取利息	28,200	28,200	0
③ 雑収益	[121]	[23]	[98]
受取預金利息	121	23	98
経常収益計	2,168,321	2,168,223	98
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,361,327]	[1,629,004]	[732,323]
委員会費	18,000	15,000	3,000
開発助成費	2,000,000	1,500,000	500,000
通信運搬費	56,174	52,450	3,724
消耗品費	108,603	32,054	76,549
賃借料	88,550	29,500	59,050
諸謝金	90,000	0	90,000
② 管理費	[405,154]	[348,415]	[56,739]
会議費	(59,600)	(31,500)	(28,100)
旅費	48,000	27,000	21,000
賃借料	11,600	4,500	7,100
事務費	(45,554)	(16,915)	(28,639)
消耗品費	29,388	5,705	23,683
通信運搬費	12,026	8,470	3,556
雑費	4,140	2,740	1,400
事務委託費	300,000	300,000	0
経常費用計	2,766,481	1,977,419	789,062
当期経常増減額	△ 598,160	190,804	△ 788,964
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 598,160	190,804	△ 788,964
一般正味財産期首残高	7,856,304	7,665,500	190,804
一般正味財産期末残高	7,258,144	7,856,304	△ 598,160
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	207,258,144	207,856,304	△ 598,160

正味財産増減計算書(内訳表)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

	A	B		C	D	E	F
1	科 目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引控除	合計
		研究助成事業	小計				
2	I 一般正味財産増減の部						
3	1. 経常増減の部						
4	(1) 経常収益						
5	① 基本財産運用益	[1,585,740]	[1,585,740]		[554,260]	[0]	[2,140,000]
6	基本財産受取利息	1,585,740	1,585,740		554,260	0	2,140,000
7	② 特定資産運用益	[28,200]	[28,200]		[0]	[0]	[28,200]
8	特定資産受取利息	28,200	28,200		0	0	28,200
9	③ 雑収益	[121]	[121]		[0]	[0]	[121]
10	受取預金利息	121	121		0	0	121
11	経常収益計	1,614,061	1,614,061		554,260	0	2,168,321
12	(2) 経常費用						
13	① 事業費	[2,361,327]	[2,361,327]		[]	[]	[2,361,327]
14	委員会費	18,000	18,000				18,000
15	開発助成費	2,000,000	2,000,000				2,000,000
16	通信運搬費	56,174	56,174				56,174
17	消耗品費	108,603	108,603				108,603
18	賃借料	88,550	88,550				88,550
19	諸謝金	90,000	90,000				90,000
20	② 管理費	[]	[]		[405,154]	[0]	[405,154]
21	会議費	()	()		(59,600)	(0)	(59,600)
22	旅費				48,000	0	48,000
23	賃借料				11,600	0	11,600
24	事務費	()	()		(45,554)	(0)	(45,554)
25	消耗品費				29,388	0	29,388
26	通信運搬費				12,026	0	12,026
27	雑費				4,140	0	4,140
28	事務委託費				300,000	0	300,000
29	経常費用計	2,361,327	2,361,327		405,154	0	2,766,481
30	当期経常増減額	△ 747,266	△ 747,266		149,106	0	△ 598,160
31	2. 経常外増減の部						
32	(1) 経常外収益						
33	経常外収益計	0	0		0	0	0
34	(2) 経常外費用						
35	経常外費用計	0	0		0	0	0
36	当期経常外増減額	0	0		0	0	0
37	当期一般正味財産増減額	△ 598,160	△ 598,160		0	0	△ 598,160
38	一般正味財産期首残高	7,856,304	7,856,304		0	0	7,856,304
39	一般正味財産期末残高	7,258,144	7,258,144		0	0	7,258,144
40	II 指定正味財産増減の部						
41	当期指定正味財産増減額	0	0		0	0	0
42	指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000		0	0	200,000,000
43	指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000		0	0	200,000,000
44	III 正味財産期末残高	207,258,144	207,258,144		0	0	207,258,144

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

課税売上がないため、税込にて処理

2. 会計方針の変更

該当事項はなし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
兵庫県縁故債	200,000,000	0	200,000,000	
楽天社債		108,545,109		108,545,109
ソフトバンクG社債		91,000,000		91,000,000
定期預金		454,891	0	454,891
小計	200,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000
特定資産				
研究開発助成引当資産	6,000,000	0	0	6,000,000
合計	206,000,000	200,000,000	200,000,000	206,000,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
楽天社債	108,545,109	108,545,109		0
ソフトバンクG社債	91,000,000	91,000,000		0
定期預金	454,891	454,891		0
小計	200,000,000	200,000,000		0
特定資産				
研究開発助成引当資産				
みずほフィナンシャルグループ社債	6,000,000	0	6,000,000	0
合計	206,000,000	200,000,000	6,000,000	0

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲は、現金預金、未払金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,156,304	1,558,144
未払金	300,000	300,000
次期繰越収支差額	1,856,304	1,258,144

財 産 目 録
令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

A	B	C	D
科 目	内 容	使用目的等	金 額
1 I 資産の部			
2 1. 流動資産			
3 現金預金			
4 現金	手元保管	運転資金として	34,860
5 普通預金	普通預金 三井住友銀行兵庫支店	運転資金として	1,523,284
6 流動資産合計			1,558,144
7 2. 固定資産			
8 (1) 基本財産			
9 投資有価証券	楽天社債	公益目的財産であり、運用益の 74.1%を公益目的事業の財源とし て、25.9%を管理費の財源として使 用している	108,545,109
10	ソフトバンクG社債		91,000,000
11	定期預金 定期預金三井住友銀行兵庫支店		454,891
12 基本財産合計			200,000,000
13 (2) 特定資産			
14 投資有価証券	みずほファイナンシャル グループ社債 (年率0.47%)	公益目的保有財産であり、運用益 を公益目的事業の財源として使用し ている	6,000,000
15 特定資産合計			6,000,000
16 固定資産合計			206,000,000
17 資産合計			207,558,144
18 II 負債の部			
19 1. 流動負債			
20 未払金	未払い金	(一社) 兵庫県発明協会に対する 未払い金	300,000
21 流動負債合計			300,000
22 負債合計			300,000
23 正味財産			207,258,144

収支計算書（予算対比）
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：円）

A	B	C	D	
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1 I 収入の部				
3 1 基本財産運用収入	[2,140,000]	[2,140,000]	[0]	
4 基本財産利息収入	2,140,000	2,140,000	0	
5 2 特定資産運用収入	[28,200]	[28,200]	[0]	
6 特定資産利息収入	28,200	28,200	0	
7 3 雑収入	[0]	[121]	[△121]	
8 預金利息収入	0	121	△121	
9 4 基本財産取崩収入	[0]	[200,000,000]	[△200,000,000]	
10 投資有価証券売却収入	0	200,000,000	△200,000,000	
11 当期収入合計(A)	2,168,200	202,168,321	△200,000,121	
12 前期繰越収支差額	1,856,304	1,856,304	0	
13 収入合計(B)	4,024,504	204,024,625	△200,000,121	
14 II 支出の部				
15 1 事業費支出	[1,803,000]	[2,361,327]	[△558,327]	
16 委員会費支出	15,000	18,000	△3,000	
17 開発助成費支出	1,500,000	2,000,000	△500,000	
18 通信運搬費支出	60,000	56,174	3,826	
19 消耗品費支出	50,000	108,603	△58,603	
20 賃借料支出	88,000	88,550	△550	
21 諸謝金支出	90,000	90,000	0	
22 2 管理費支出	[488,200]	[405,154]	[83,046]	
23 会議費支出	(100,000)	(59,600)	(40,400)	
24 旅費支出	90,000	48,000	42,000	
25 賃借料支出	10,000	11,600	△1,600	
26 事務費支出	(88,200)	(45,554)	(42,646)	
27 消耗品費支出	70,000	29,388	40,612	
28 通信運搬費支出	15,000	12,026	2,974	
29 雑支出	3,200	4,140	△940	
30 事務委託費支出	300,000	300,000	0	
31 3 基本財産取得支出	[0]	[200,000,000]	[△200,000,000]	
32 投資有価証券購入支出	0	199,545,109	△199,545,109	
33 定期預金支出	0	454,891	△454,891	
34 当期支出合計(C)	2,291,200	202,766,481	△200,475,281	
35 当期収支差額(A)-(C)	△123,000	△598,160	475,160	
36 次期繰越収支差額(B)-(C)	1,733,304	1,258,144	475,160	

監 査 報 告 書

令和4年 4月 19日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監事 鈴木 祥 克 印

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の令和3年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

監査報告書

令和4年 4月 25日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監事 大 西 利 政 印

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の令和3年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上